



ORA **40**th
ANNIVERSARY

町制施行40周年記念

邑楽町40年のあゆみ

やさしさと活気の調和したまち“おうら”



邑楽町が誕生するまで

- 明治初期 岩鼻県設置
中野村・鶉村・鶉新田村・光善寺村・狸塚村・赤堀村は館林藩
藤川村・秋妻村・石打村・篠塚村（一部天領）は岩鼻県へ
- 明治4年1月 藤川村・秋妻村・石打村・篠塚村が館林藩へ編入
- 明治4年7月 廃藩置県により旧村々は館林県へ
- 明治4年10月 邑楽・山田・新田の東毛三郡は栃木県へ
- 明治9年8月 邑楽・山田・新田の東毛三郡と熊谷県に統合されていた
第一次群馬県分が合わさり現在の群馬県が成立
- 明治22年4月 中野村・高島村・長柄村が誕生
- 昭和30年3月 中野村・高島村の合併により中島村が誕生
- 昭和31年9月 千代田村の一部、旧長柄村が境界変更により中島村に編入
- 昭和32年1月 「邑楽村」に村名を変更
- 昭和43年4月 町制を施行し「邑楽町」が誕生



邑楽町は群馬県東南部に位置し、北に渡良瀬川、南に利根川が流れ、白鳥が訪れることで有名な多々良沼に隣接しています。町域は東西約6km、南北約7.7km、平均標高は25mの平坦地で、面積は31.12km²。町内にはアカマツ林や雑木林などの平地林が点在しています。

目次 CONTENTS

邑楽町40年のあゆみ

昭和43-52年	2
昭和53-62年	6
昭和63-平成9年	10
平成10-20年	14

これからの邑楽町

自然・都市基盤整備	18
生活環境	19
保健・福祉	20
教育・文化	21
産業振興	22
パートナーシップ	23
役場新庁舎	24
行政・議会	26
町内施設一覧	27
データで見る邑楽町	28

やさしさと活気の
調和したまち
“おづら”



◎発刊にあたって

町民の皆様と共にあゆみ そして明日へ

今年、邑楽町は町制施行40周年を迎えました。

これもひとえに、町づくりに情熱を傾けられた先輩諸氏のご努力と、町民皆様のご協力の賜物であると深く敬意を表します。

町制施行当時、町の人口は15,000人、世帯数3,100世帯でありましたが、40年たった今では人口28,000人、世帯数9,300世帯、平成18年の工業出荷額県内9位と、邑楽町は大きな変動を遂げました。この間、町は時代の趨勢に対応するため、総合計画を策定し工業団地や住宅団地造成・産業・教育・文化・福祉など、その時代にふさわしい施策を積極的に推進してきました。

現在、地方は自らの裁量で、創造に満ちた、特色ある地域づくりを進めるために、行政システムの転換と、地方の自立と責任が鮮明にうたわれる時代となりました。同時に、少子・高齢化が進み、高度情報化の到来など社会や経済は大きく変貌し、多様化した住民ニーズに迅速かつ柔軟な対応が町づくりに求められています。

邑楽町は、「やさしさと活気の調和したまち、おづら」を町の将来像とした、第5次総合計画を平成18年3月に策定しました。この目標に向かって、町民皆様と共に力強く進みたいと思います。



邑楽町長
金子正一



昭和30年代後半からの高度経済成長により、
純農村地帯だった邑楽村も
農業就業者以外の人口が半数以上を占めるようになりました。
日本国中がいざなぎ景気にわき、
明治百年という記念すべき昭和43年、
「邑楽村」は「邑楽町」へと生まれ変わったのです。

邑楽町が産声を上げたその日は、快晴の空の下、自衛隊音楽隊の吹奏パレードや各区代表の、のど自慢大会などのアトラクションがにぎやかに催され、町を挙げて祝賀ムード一色に。さらに10月には、郷土のホープ上武選手が2大会連続のオリンピック金メダルに輝き、二重の喜びに包まれた年となりました。

町となつての10年間は、小中学校の校舎やプール、屋内運動場など、特に教育施設の整備に力が注がれた年代でした。

また、保育園や社会福祉センターなどの福祉施設の整備、中野住宅団地の造成や堀住宅団地の整備、ごみ収集の開始、浄水場の拡張、消防邑楽分署開設など、町民生活に直結するさまざまな整備が積極的に進められ、住みよさから転入者が年々増加していきました。

新しい町民が増える中、47年には町紋章、50年には町歌や邑楽町音頭がつくられるなど、町民アイデンティティーの確立を図ることに力注がれました。

昭和43年（1968）4月1日、『邑楽町』誕生。



1 町制施行祝賀会【昭和43年4月】
中野小学校屋内運動場を会場に、県知事代行、県出国議員、県会議員、隣接市町村長など多数の来賓出席のもと、盛大に祝賀式が挙行されました。

この時代は…
（昭和43年-52年）

- 日本の経済成長率は年10%以上という右肩上がりの時期。
- 昭和43年のカラーテレビ普及率はわずか5.4%だったが、10年後の52年には94.5%に。
- 高度経済成長のひずみから公害が社会問題化。
- 昭和47年に田中内閣が「日本列島改造論」を発表。土地投機ブームとなりインフレ加速。



2 オープンカーでパレードする上武選手
【昭和43年10月】
レスリングフリースタイル・バンタム級で東京五輪に次いでメキシコ五輪でも金メダルを獲得した上武洋次郎選手。郷土の英雄として町民の祝福を受けました。



3 完成間近の邑楽中学校
【昭和44年2月】
統合「邑楽中学校」の発足（昭和44年4月1日）に向けて、42年から校舎の建設工事が進められていました。



4 中野小学校プール完成
【昭和44年7月】
長柄小・中野小・高島小の3小学校のプールが同時に建設されました。25m5コースの立派なプールが完成しました。



5 高島小学校屋内運動場完成
【昭和45年10月】
総工費1,500万円をかけて広さ430㎡の新しい屋内運動場が完成しました。



6 長柄小学校屋内運動場完成
【昭和45年11月】
高島小学校と同時に長柄小学校の屋内運動場も、広さ504㎡、総工費1,620万円で作られました。

邑楽町の主なできごと	昭和45年 [1970]	昭和44年 [1969]	昭和43年 [1968]	社会の主なできごと
12月 都市計画区域指定	10月 高島小学校屋内運動場完成 【写真5】	7月 中野・高島・長柄3小学校にプール完成 【写真4】	4月 町制施行により邑楽町となる 【写真1】	6月 小笠原諸島23年ぶりに日本へ復帰
11月 長柄小学校屋内運動場完成 【写真6】	10月 国勢調査人口15,030人、世帯数3,232世帯	3月 長藤堀土地改良完成 【写真3】	9月 農集電話開通（2,311台の加入、普及率74%となる）	7月 郵便番号制実施
10月 高島小学校屋内運動場完成 【写真5】	8月 ごみ収集車購入、ごみ収集（可燃・不燃物）開始	4月 館林邑楽交通災害共済組合（1市3町2村）発足	10月 上武（現・小幡）洋次郎選手メキシコオリンピック、レスリングフリースタイルバンタム級で金メダル獲得（東京オリンピックに次いで2個目） 【写真2】	5月 東名高速道路全線開通
10月 国勢調査人口15,030人、世帯数3,232世帯	7月 邑楽中学校プール完成	2月 邑楽中学校校舎完成 【写真1】	4月 交通指導員制度発足（指導員12名）	3月 アメリカのアポロ11号が月面に着陸、人類の第一歩を踏む
10月 高島小学校屋内運動場完成 【写真5】	7月 東毛広域市町村圏振興整備組合（2市5町2村）発足	1月 交通指導員制度発足（指導員12名）	3月 長藤堀土地改良完成 【写真3】	3月 大阪で万国博覧会開催
10月 国勢調査人口15,030人、世帯数3,232世帯	5月 首都圏都市開発区域指定	2月 邑楽中学校校舎完成 【写真1】	2月 邑楽中学校屋内運動場完成	10月 国勢調査で日本の総人口1億人を突破
10月 国勢調査人口15,030人、世帯数3,232世帯	4月 館林地区消防組合（1市2町2村）発足	1月 交通指導員制度発足（指導員12名）	2月 邑楽中学校校舎完成 【写真1】	
10月 国勢調査人口15,030人、世帯数3,232世帯	3月 館林邑楽交通災害共済組合（1市3町2村）発足	12月 都市計画区域指定	12月 都市計画区域指定	

広報おうら
のこんな記事(抜粋) 昭和43-52年

長話しは他人の迷惑

開通した農集電話

●昭和43年10月号

文化生活になくなくてはならないもの……電話もその中の一つに入ります。

邑楽町では農村集団自動電話が各地区に架設され、一般加入電話も含めると何と2,560台余となり、1.21世帯に1台という普及率。1回線に6～7世帯がつながっているの、そのうち1台が電話しているときは、残りの5～6台の電話が通話不能の状態になっているわけです。



とにかく、受話器をつかんだら、簡単に済ませる習慣をつけるよう、長い電話は絶対つしみ、お互いに有効に使いたいものです。

全自動で高能率

機械化される田植え作業

●昭和45年6月号

昔からもっとも機械化が難しいとされてきた田植え作業も、田植え機の実用化により、人手の大幅な軽減と体系的な機械化が可能になってきました。邑楽町でも、兼業農家が増加し、重労働である代かき、田植えなどを請け負いに出す農家が多くなってきたように感じられます。機械力が普及してきたおかげで簡単に頼めるようになったことがさいわいしているようです。

田植え機の実用化により、農作業の様相も一変してきたことは事実です。



TOPICS of the times

オイルショックと
狂乱物価

【昭和48年】

昭和48年10月に第4次中東戦争が勃発し、原油を中東に依存する日本は大きな衝撃を受けました。トイレットペーパーや洗剤、砂糖などの日常生活品が店頭から消え、主婦たちがスーパーへ殺到。全国各地でパニック現象が起こりました。



(写真提供：毎日新聞社)

当時の福田赳夫大蔵大臣が異常な値上げを評して「物価は狂乱状態」と表現。「狂乱物価」という新語が生まれました。



14 長柄小学校中央・東校舎全焼
【昭和50年8月】



16 高島小学校増改築工事完成
【昭和51年12月】



15 長柄小学校新築校舎完成
【昭和51年3月】



17 集中豪雨による水害
【昭和52年7月】

7月16日夜、雨量100ミリを越す集中豪雨に襲われ、水田の冠水296.5ha、床下浸水25戸の被害となりました。



11 邑楽町公民館社会福祉センター完成
【昭和48年3月】



12 第三浄水場完成【昭和49年9月】



18 町立集会所完成
【昭和50年3月】

新中野住宅団地に、大会議室、レクリエーション室、談話室などを備えた2階建の集会所ができました。



8 火の見やぐらに設置された屋外有線放送のスピーカー
【昭和47年3月】

町内16か所の火の見やぐらと邑楽中学校に取り付けられたスピーカーで、午前7時と午後6時の定時放送と、非常時などの緊急放送を始めました。



7 館林地区消防組合邑楽分署庁舎完成
【昭和46年2月】



10 中野住宅団地造成工事完成
【昭和48年3月】

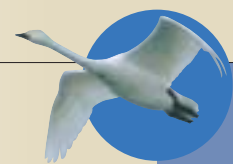
県企業局が昭和46年4月から約2年間をかけて造成した中野住宅団地が完成し、分譲を始めました。

9 第22回関東高校女子ソフトボール選手権大会開催
【昭和47年6月】

関東1都6県と山梨県の16チームが競う大会が、邑楽中学校校庭と青少年広場を会場に開かれました。



昭和52年 [1977]	昭和51年 [1976]	昭和50年 [1975]	昭和49年 [1974]	昭和48年 [1973]	昭和47年 [1972]	昭和46年 [1971]	邑楽町の主なできごと
11月 文化協会設立 10月 知事と話し合うつどい開催 8月 都市計画区域線引き決定 8月 都市計画区域線引き決定 7月 集中豪雨により床下浸水家屋25戸、水田296.5ヘクタールの冠水【写真17】 1月 石打児童公園完成	12月 町営堀堀住宅団地10戸完成 12月 合併20周年記念式典・中小企業物産展開催 12月 高島小学校増改築工事完成【写真16】 10月 社会福祉協議会法人化 4月 冠婚葬祭簡素化運動開始 4月 大泉町外二カ町村環境衛生施設組合(2町1村)発足 3月 町立東原集会所完成 3月 長柄小学校新築校舎完成【写真15】 2月 北保育園完成	10月 国勢調査人口17,793人、世帯数4,233世帯、人口増加率18.4%は県下第4位 8月 長柄小学校(中央校舎・東校舎)全焼【写真14】 5月 邑楽町町歌・邑楽町音頭発表(作詞:酒井良之助 曲:美山幸成) 3月 町立集会所(新中野)完成【写真13】 2月 北保育園完成	11月 中野小学校増築工事完成 9月 第三浄水場完成(第4次拡張工事)【写真12】 8月 町誌編さん開始	10月 衛生委員制度発足 8月 邑楽局完成、電話自動化される 4月 農業共済事業 町に移管 3月 邑楽町公民館社会福祉センター完成【写真11】 3月 南保育園完成 3月 中野住宅団地造成工事完成(6月一般分譲)【写真10】 3月 都市計画区域告示	6月 第22回関東高校女子ソフトボール選手権大会開催(6月2・3・4日)【写真9】 6月 青少年広場完成 3月 大黒土地改良(水田転換)完成 3月 屋外有線放送開始(町内17か所)【写真8】 1月 邑楽町紋章制定(秋妻、高田明氏創案)	11月 邑楽町総合計画策定 10月 有線放送町移管となる 2月 館林地区消防組合邑楽分署庁舎完成【写真7】 1月 中央保育園完成	社会の主なできごと 4月 群馬テレビが本放送開始 6月 沖繩返還協定調定式 1月 元日本兵横井庄一さんがアム島で発見 2月 冬季オリンピック札幌大会開催 5月 沖繩県が誕生 12月 石油危機でパニック 10月 江崎玲於奈氏ノーベル物理学賞を受賞



昭和50年代後半になると、日本経済は安定成長の時代に入り、人々の生活にもゆとりが生まれてきました。そのような中、邑楽町では、町民生活の安定と自然環境の保全を基調とした新総合計画を策定しました。

町制施行以来、首都圏都市開発区域の指定を受け、開発が進められてきた本町ですが、急激な人口の増加、工業団地の造成や企業の立地などによって総合計画の見直しが必要となり、昭和53年3月、「緑と水の活力にみちた農工調和の町」を目指した新総合計画が策定されました。
町制施行10周年を記念して町民憲章や町のシンボルである町の木・町の花が制定されたり、58年には町の自然や歴史をまとめた町誌が発刊されるなど、町民の心を一つにつないで、新しいまちづくりが着々と進められた年代です。
ゆとりと潤いのある暮らしのために、スポーツ活動の拠点として町民体育館や武道館、憩いの場として多々良沼公園や老人福祉センターなどが造られました。
昭和61年には、FC邑楽が全日本少年サッカー大会で優勝という快挙を成し遂げ、「サッカーの町」として全国にその名を轟かせたのもこの年代でした。

農工調和の町へ。 緑と水の活力にみちた



1 町民体育館完成 [昭和53年2月]



3 完成した学校給食センター [昭和54年3月]



4 造成工事完了の鞍掛工業団地 [昭和54年9月]



5 神光寺の大カヤが県の天然記念物に指定 [昭和54年10月]



8 多々良沼公園浮島橋渡り初め [昭和55年5月]
自然保護と住民の憩いの場として整備が進められていた多々良沼公園の、鶉小城から弁天様の間に浮島橋が完成し、渡り初めが行われました。



7 武道館完成 [昭和55年3月]



9 老人福祉センター完成 [昭和56年3月]



6 開園した中野幼稚園 [昭和55年3月]

邑楽町の主なできごと

- 1月 町営植堀住宅団地20戸完成
- 2月 町民体育館完成 [写真1]
- 2月 高島幼稚園完成
- 3月 邑楽町新総合計画策定
- 3月 人口2万人を突破
- 4月 納税の口座振替実施
- 6月 町制施行10周年記念式典開催 [写真2]
- 7月 町民憲章、町の木（アカマツ）町の花（ヤマツツジ）制定

社会の主なできごと

- 1月 国立大学初の共通一次試験実施
- 6月 木曾御岳山が有史以来の噴火

この時代は…
〈昭和53年～62年〉

- 安定成長の時代になり、余暇を楽しむ余裕が生まれた。
- 「モノからサービスへ」「重厚長大から軽薄短小へ」と価値観が変化。
- 東北・上越新幹線の開通により地方が身近な存在になる。
- NTT・JT・JRなど次々に民営化がスタート。



2 町制施行10周年記念式典で発表された町民憲章 [昭和53年6月]
町内在住、在勤の学識者17名からなる起草委員会で起草・検討されてつくられました。

昭和56年 [1981]	昭和55年 [1980]	昭和54年 [1979]	昭和53年 [1978]
<ul style="list-style-type: none"> 4月 アメリカスペースシャトル発射 10月 福井謙一京大教授ノーベル化学賞受賞 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 県立女子大が開学 7月 オリニックモスクワ大会に日本不参加 	<ul style="list-style-type: none"> 2月 長柄幼稚園完成 3月 邑楽中学校屋内運動場全焼 3月 青少年広場夜間照明施設完成 3月 学校給食センター完成 [写真3] 4月 風の子保育園開園 8月 緑ヶ岡公園夜間照明施設完成 9月 鞍掛第1・2工業団地完成 [写真4] 10月 神光寺の大カヤ、県の天然記念物に指定 [写真5] 12月 邑楽中学校屋内運動場完成 12月 邑楽中学校増築工事完成 	<ul style="list-style-type: none"> 3月 中野幼稚園完成 [写真6] 3月 武道館完成 [写真7] 3月 第三児童館完成 5月 多々良沼公園浮島橋完成渡り初め [写真8] 10月 国勢調査人口21,869人、世帯数5,491世帯、人口増加率22.9%は県下第2位 10月 第1回行政区対抗無事故無違反コンクール実施

広報
おうら

のこんな記事(抜粋) 昭和53-62年

汗を流してみんなで協力!!

●昭和54年2月号

現場は大字秋妻地内の町道路肩杭柵工事。地元の方々とすぐやる課職員による補修工事風景(1月29日)。日常生活に欠かさない道路等緊急処理についての要望は“すぐやる課”へどうぞ。



ブームです!! ゲートボール

●昭和55年9月号

今、おとしよりの間でブームになっているゲートボールは…(中略)。

このスポーツは、おとしよりのたちの健康管理、親和協調、社会進出、頭脳の洗練などに役立ちます。



パスポートが太田でとれます

9月から出張窓口開設

●昭和59年8月号

海外旅行される方のパスポート申請が、9月から太田市の合同庁舎でできるようになります。旅券の交付は次の定期出張日になります。

なお、再発給申請等、出張窓口で処理できないものは県庁受付となります。



20 F.C. 邑楽全国制覇【昭和61年8月】
第10回全日本少年サッカー大会に、県代表として出場したF.C. 邑楽が初優勝の栄冠を勝ち取りました。



21 完成した明野団地【昭和62年8月】
中野第二住宅団地の大字が新しく「明野」となりました。



17 共同福祉施設完成【昭和60年3月】



18 産業研修会館完成【昭和60年10月】



19 南中学校屋内運動場完成【昭和61年2月】



15 中野浄水場完成【昭和59年3月】



12 邑楽町誌の発刊【昭和58年2月】



16 邑楽南中学校完成【昭和60年3月】



18 長柄小学校増改築校舎完成【昭和58年3月】



14 あかぎ国体炬火リレー【昭和58年9月】
岩宿遺跡で採火された「岩宿の火」が桐生の炬火リレー隊から引き継がれ、町内5か所の引き継ぎ所を経て館林の炬火リレー隊に渡されました。

10 台風18号による被害【昭和57年9月】



11 水稲被害状況視察のため県知事来町【昭和57年10月】
台風18号により農作物の被害額は1億7,000万円を超え、知事が状況視察に訪れました。

TOPICS of the times

あかぎ国体の開催

【昭和58年】

第38回国民体育大会は群馬の名山・赤城山にちなんで「あかぎ国体」と名づけられました。秋季大会の開会式には「風に向かって走ろう」をスローガンに、国体史上最高の2万人を超える選手たちが集いました。

またこの年、スケートの世界スプリント選手権大会においても大活躍した黒岩彰選手と黒岩美智子選手に、初の群馬県スポーツ栄誉賞が贈られました。



昭和62年 [1987]	昭和61年 [1986]	昭和60年 [1985]	昭和59年 [1984]	昭和58年 [1983]	昭和57年 [1982]	邑楽町の主なできごと
<p>10月 セツ工科大学教授にノール医学生理学賞</p> <p>6月 連続出場世界記録を樹立利根川進・米マサチューセツ工科大学教授にノール医学生理学賞</p> <p>4月 国鉄の分割・民営化に伴いJR新会社がスタート 鉄人衣笠2・131試合 連続出場世界記録を樹立利根川進・米マサチューセツ工科大学教授にノール医学生理学賞</p>	<p>11月 伊豆大島三原山が噴火</p> <p>4月 ソ連チェルノブイリ原発事故</p> <p>4月 400m成分献血制度スタート</p>	<p>11月 水道災害相互応援協定締結(1市5町)</p> <p>10月 国勢調査人口24,217人、世帯数6,319世帯、人口増加率10・7%は県下第5位</p> <p>10月 産業研修会館完成【写真18】</p> <p>7月 邑楽南中学校プール完成</p> <p>3月 共同福祉施設完成【写真17】</p> <p>3月 邑楽南中学校新築校舎完成【写真16】</p> <p>2月 邑楽南中学校屋内運動場完成【写真19】</p> <p>3月 中野沼農地開発事業が完成</p> <p>3月 新農業構造改善事業ミニ・ライスセンター(十三軒・本郷江原地区)完成</p> <p>6月 老人福祉センター利用者30万人を突破</p> <p>8月 第10回全日本少年サッカー大会でF.C. 邑楽優勝【写真20】</p> <p>8月 台風10号により床下浸水34戸、水田149ヘクタールが冠水</p> <p>9月 都市計画道路南部幹線未決定部分と篠塚常光寺線が計画決定</p> <p>12月 邑楽町第三次総合計画策定</p>	<p>4月 生活圏道路(1・2級町道)の舗装率78%に</p> <p>3月 高島小学校増改築校舎完成</p> <p>3月 中野浄水場(第5次水道事業拡張工事)完成【写真15】</p>	<p>8月 都市計画道路南部幹線(篠塚一部を除く)決定</p> <p>6月 県立緑化センター開所</p> <p>4月 生活圏道路(1・2級町道)舗装率72%に</p> <p>3月 長柄小学校増改築校舎完成【写真13】</p> <p>2月 邑楽町誌発刊【写真12】</p>	<p>10月 水稲被害状況視察のため、県知事来町【写真11】</p> <p>9月 台風18号により床上・床下浸水家屋70戸の被害【写真10】</p> <p>4月 第1回公民館まつり開催</p> <p>4月 農地銀行開設</p>	<p>社会の主なできごと</p> <p>4月 500円硬貨を発行</p> <p>11月 上越新幹線が開業</p> <p>11月 中曽根内閣発足</p> <p>5月 日本海中部地震で死者、行方不明者102人</p> <p>9月 あかぎ国体開催【写真14】</p> <p>9月 大韓航空機が撃墜され、269人死亡</p> <p>10月 三宅島雄山が噴火</p> <p>7月 オリンピックロサンゼルス大会開催</p> <p>11月 1万5千円札が文化人トリオに</p> <p>3月 つくば科学万博開催</p> <p>8月 日航機上野村に墜落、死者520人、4人が奇跡の生還</p>



バブル景気から平成不況へと、社会情勢が目まぐるしく変化した年代。邑楽町では、ふるさと創生事業としてシンボルタワーが建設されました。また、緑豊かな公園の中に公共施設を整備する事業もスタートしました。

昭和から平成へと変わったこの年代、目前に迫った21世紀へと夢をつなぐ事業が次々とスタートしました。平成元年、各層から選ばれた町民からなる「21世紀夢倶楽部」が設置され、ふるさと創生事業としてシンボルタワー「未来MIRAI」の建設が決定。平成5年に完成したタワーは、町のランドマークとなり、未来に羽ばたく邑楽町の姿を象徴するものとなりました。町の中心部の豊かな自然の中に、シンボルタワーを中央として、平成7年には町立図書館、8年にはあいあいセンターと、次々に邑楽町の新しい顔が整備されていきました。また、この事業の一環として、長い間氾濫を繰り返していた孫兵衛川を、人に親しまれる自然豊かな川として改修。国にも高く評価され、孫兵衛川はふるさとの川モデル河川に指定されました。夏の一大イベント「おうら祭り」が始まったのもこの年代です。



15 シンボルタワー「未来MIRAI」オープン【平成5年5月】ふるさと創生事業としてつくられた高さ56.5mのシンボルタワー。「町に誇れるものを」という町民の願いが形になりました。

明日へ躍動する 明日へ住み良い町へ。

この時代は…（昭和63年～平成9年）
●波乱に満ちた昭和が終わり、平成の時代に。前半はバブル景気に乗り各地で地域おこしが盛ん。後半は一気に景気が後退。
●東西ドイツの統一、湾岸戦争勃発、ソ連消滅など、世界情勢が大きく変化。
●阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件など、日本中を震撼させた大きな災害や事件が発生。



4 全日本ジュニアバドミントン選手権大会【昭和63年11月】
1 ぬくもりの里開所【昭和63年2月】



3 町制施行20周年記念式典【昭和63年4月】町民体育館を会場に、まちづくりに貢献した人の表彰などが行われました。



6 邑楽中学校サッカー部全国大会3位入賞祝賀会【平成元年8月】



5 浮島弁財天の大開扉祭典【平成元年5月】



13 第1回おうら祭り【平成3年7月】おみこしやマーチングバンドの登場する町民パレードや、八木節などで盛り上がった納涼祭など、様々な催し物が行われました。

昭和63年
平成9年



2 中野東小学校完成【昭和63年3月】



7 デイ・サービスセンター完成【平成2年2月】



8 勤労青少年ホーム完成【平成2年3月】



9 商工会館完成【平成2年3月】



10 高島小学校屋内運動場とプール完成【平成2年3月】



11 JAライスセンター完成【平成2年8月】



12 孫兵衛川が「ふるさとの川モデル河川」に【平成3年7月】

平成3年 [1991]	平成2年 [1990]	平成元年 [1989]	昭和63年 [1988]	邑楽町の主なできごと
6月 多国籍軍がクウェートで作戦を展開し、湾岸戦争勃発 雲仙・普賢岳のふもと島原市で火砕流による被害死者37名 行方不明4名	10月 東西ドイツ統一、「ドイツ連邦共和国」発足 12月 秋山豊寛さん、日本人初の宇宙飛行士としてソ連の宇宙ステーション「ミール」に乗り込み、地球を144周、9日間の飛行	1月 昭和天皇崩御、元号が「昭和」から「平成」へ 4月 消費税が導入される 6月 歌手の美空ひばりさん死去、国民栄誉賞贈られるドイツを東西に分けるベルリンの壁崩壊	3月 北海道と青森県を結ぶ青函トンネル開通 3月 全天候型多目的スタジアム「東京ドーム」落成 4月 瀬戸大橋が開通、本州と四国が陸続きに 9月 ソウルオリンピック開幕	1月 渡部美咲さん（新中野）第16回ローザンヌ国際パレエコンクールでエスポワール賞（新人賞）を受賞 2月 高齢者作品販売センター「邑楽ぬくもりの里開所」【写真1】 3月 中野東小学校校舎・屋内運動場完成【写真2】 4月 町制施行20周年記念式典開催【写真3】 8月 役場窓口業務オンラインシステム稼働 9月 行政区に「明野」が加わり、34行政区となる 11月 全日本ジュニアバドミントン選手権大会開催【写真4】 3月 町民テニスコート完成（全天候3面、グリーンコート3面、壁打ち1面） 5月 浮島弁財天、60年に一度の大開扉祭典【写真5】 8月 邑楽中学校サッカー部、全国中学校サッカー大会で3位入賞【写真6】

広報おうら
このんな記事(抜粋) 昭和63-平成9年

中野絢に挑戦

●平成元年10月号

邑楽町公民館のジュニアトレーニングスクールで、小学校5・6年生が中野絢に挑戦しました。



中野絢愛好会の皆さんの指導の下、参加した22人の子どもたちは、初めての経験に最初はぎこちない手つきでしたが、一生懸命に織って素晴らしい作品ができあがりました。

町が大きくなりました

●平成元年12月号

11月10日から、町が少し大きくなりました。30.47kmから31.13kmへ、66万㎡(20万坪)も面積が増えたのです。建設省の国土地理院が、新しく測り直したら実は31.13kmあったというわけなのです。



(現在は31.12km)

はくちょう号の走った町

●平成2年7月号

昭和60年12月から、高島地区を巡回した移動図書館バス「はくちょう号」。県立図書館から譲り受けた時点で12年たっていましたが改修し、毎週土曜日に1500冊の本をのせて、6か所のステーションを巡回していました。



しかし、バスの使用年数が17年をこえ、安全に運転できなくなったため、6月30日で廃止されました。

TOPICS of the times

向井千秋さん、宇宙へ

[平成6年]

7月8日、館林市出身の日本人初女性宇宙飛行士・向井千秋さんを乗せた米スペースシャトル「コロンビア」が、ケネディ宇宙センターから打ち上げられました。

女性として連続宇宙滞在時間の世界記録をつくり無事帰還した向井さんは、「宇宙時代のヒロイン」として地元の盛大な歓迎を受け、その偉業に初の県民栄誉賞が贈られました。



24 老人福祉センター利用者100万人突破 [平成9年8月]



22 一般廃棄物最終処分場完成 [平成9年5月]



21 元日本代表・木村和司さんを招いてサッカー教室開催 [平成8年3月]



26 上水道の県水受水開始 [平成9年11月]



25 シンボルタワー入場者10万人突破 [平成9年10月]



23 FC邑楽、第21回全日本少年サッカー大会で準優勝 [平成9年8月]

決勝まで安定した戦いで勝ち進んだFC邑楽は、優勝は逃したものの、フェアプレー賞を獲得する活躍でした。



27 長柄小学校屋内運動場完成 [平成9年12月]



15 完成したシンボルタワー「未来MIRAI」 [平成5年5月]



16 高島小学校のトウグミが県の天然記念物に指定 [平成7年3月]



14 勤労者体育センター完成 [平成4年3月]



17 町立図書館オープン [平成7年1月]



19 福祉作業所完成 [平成7年3月]



20 あいあいセンター完成 [平成8年3月]

<p>12月 長柄小学校屋内運動場完成 [写真27]</p> <p>11月 上水道の県水受水開始 [写真25]</p> <p>10月 シンボルタワー入場者100万人突破 [写真24]</p> <p>8月 老人福祉センター利用者100万人突破 [写真23]</p> <p>8月 FC邑楽が第21回全日本少年サッカー大会で準優勝 [写真22]</p> <p>5月 大泉町外二町環境衛生施設組合の一般廃棄物最終処分場が狸塚に完成 [写真21]</p>	<p>10月 昭和12年からはじまった東武鉄道小泉線の貨物輸送廃止</p> <p>8月 リアのシドニーでホームステイを体験</p> <p>5月 邑楽町第四次総合計画策定</p> <p>5月 邑楽町ホームページ開設</p> <p>3月 中学生国際交流事業開始、15人の中学生がオーストラリアのシドニーでホームステイを体験 [写真21]</p>	<p>3月 あいあいセンター完成 [写真20]</p> <p>3月 鞍掛第三工業団地、2期工事開始</p> <p>3月 元日本代表・木村和司さんを招いてサッカー教室開催 [写真19]</p>	<p>11月 鞍掛第三工業団地、造成工事開始</p> <p>10月 国勢調査人口27,421人、世帯数は7,960世帯</p> <p>3月 高島小学校のトウグミ、県の天然記念物に指定 [写真18]</p> <p>2月 シンボルタワー入場者5万人突破</p> <p>1月 町立図書館オープン [写真17]</p>	<p>16 シンボルタワーマラソン大会 [平成6年12月]</p> <p>町民健康マラソンを発展させ、距離や年齢などでのクラス分けを増やした大会。第1回大会には764人もの方が参加しました。</p>	<p>8月 老人福祉センター利用者80万人突破</p> <p>12月 第1回シンボルタワーマラソン大会開催 [写真16]</p>	<p>5月 シンボルタワー「未来MIRAI」オープン [10P写真15]</p> <p>6月 鞍掛第三工業団地を市街化区域に編入</p>	<p>3月 勤労者体育センター完成 [写真14]</p> <p>3月 スポーツレクリエーション広場完成</p>
--	--	---	---	---	--	--	---

平成9年 [1997]	平成8年 [1996]	平成7年 [1995]	平成6年 [1994]	平成5年 [1993]	平成4年 [1992]	
<p>8月 ロシア船籍タンカー「ナホトカ号」が島根県沖で沈没。大量の重油が流出し、日本海沿岸に大きな被害を与える</p> <p>7月 香港がイギリスの植民地支配を終え、中国に返還される</p> <p>1月 イギリスの元皇太子妃ダイアナさんがパリで交通事故死</p>	<p>12月 ペルーで日本大使館が過激派グループ「トゥパク・アマル」に占拠される</p> <p>8月 俳優の渥美清さん死去、国民栄誉賞贈られる</p>	<p>7月 病原性大腸菌O157による食中毒が全国で発生</p> <p>10月 群馬県人口200万人記念映画「眠る男」完成、12月から県内全市町村で上映</p>	<p>1月 阪神淡路大震災発生、死者6,055人</p> <p>3月 地下鉄の電車が駅構内に猛毒の「サリン」が散布され7人が死亡、5,000人が重軽傷</p> <p>9月 群馬県人口200万人記念映画「眠る男」完成、12月から県内全市町村で上映</p>	<p>5月 F1レーサー、ブラジルのアイルトン・セナ、イタリアのサンマリノGPでレース中に事故死</p> <p>7月 日本人初の女性宇宙飛行士、館林市出身の向井千秋さんがスペースシャトル「コロンビア」で宇宙へ記録的な猛暑により全国的に水不足</p> <p>9月 世界初の海上空港「関西空港」が開港</p>	<p>5月 日本プロサッカーリーグ「Jリーグ」がスタート</p> <p>7月 北海道南西沖地震発生、津波などにより、死者181人、行方不明64人</p> <p>10月 冷夏の影響で米が大凶作、各地で米不足となり、外国からの輸入を決定</p> <p>10月 群馬県人口200万人突破</p>	<p>4月 「ぐんまフラワーパーク」開園</p> <p>9月 学校週5日制スタート</p> <p>9月 日本人宇宙飛行士毛利衛さん、スペースシャトル「エンデバー」で宇宙へ</p>

邑楽町の主なできごと

社会の主なできごと



21世紀が始まり、
 少子高齢化や高度情報化が急速に進展。
 一方で、温暖化など環境問題も深刻化してきました。
 邑楽町でも、福祉施策の充実や
 豊かな自然と調和した整備が進められ、
 次の時代へと手渡されようとしています。

官から民へと国の方針が移行してきた21世紀は、地方のまちづくりも住民主体で行われるようになりました。

邑楽町では、保育園や児童館の整備充実、子育て支援センター事業などの少子化対策や、保健センターの建設、障害者福祉計画の策定など、保健・福祉事業に力が注がれました。

環境対策としては、ごみの分別収集や、ポイ捨て・犬のふん害防止条例の施行などがスタート。環境にやさしい乗り物として公共路線バスの運行も始まりました。

平成15年、ふれあいとやすらぎの水辺空間を目指して、平成10年から整備が進められていた「おうら中央公園」が完成。町民ボランティアの皆さんが協力して管理していく公園は21世紀のまちづくりにふさわしい形となりました。

町制40周年を迎える平成20年には、役場新庁舎が完成。ここを拠点に次の時代へ向けて、やさしさと活気が調和したまちづくりが進められます。

人と自然にやさしく 魅力ある町へ。



1 町制施行30周年記念式典 [平成10年4月]
 4月29日の記念式典は、出席者約1,000人。121人の皆さんが自治功労表彰を受けました。



3 おうら創造の森オープン [平成10年5月]
 平たん地のモデル林として造られました。車いすなどにも対応したバリアフリーが特徴です。



4 第16回国民文化祭「食の文化祭」開催 [平成13年11月]
 「粉食の文化」というテーマで開催され、伝統的な食事メニューの再現や試食、調理体験などが行われました。

平成10年 20年

2 中央保育園完成 [平成10年4月]
 老朽化した中央保育園が新築・移転。敷地は以前の4倍になり、園庭には様々な遊具が用意されました。



5 広域公共路線バス「館林・邑楽・千代田線」の運行開始 [平成14年10月]
 館林駅前と千代田町役場前を結ぶ路線バス。通勤・通学、レジャーなどに活用されています。



12 邑楽町保健センター完成 [平成18年8月]
 シンボルタワー東側に完成した保健センター。オープン記念講演会ではエッセイストの鈴木ひとみさんが講演しました。

この時代は…
 （平成10年～20年）

- 平成不況から徐々に抜け出し、日本経済は回復基調に。
- インターネットの普及、地上デジタル放送開始など高度情報化社会が到来。
- 男女共同参画社会がキーワードに。
- 地球温暖化防止のためクールビズ・ウオームビズが推奨される。

邑楽町の主なできごと

社会の主なできごと

平成14年 [2002]	平成13年 [2001]	平成12年 [2000]	平成11年 [1999]	平成10年 [1998]
9月 日朝首脳会談、拉致被害者5人帰国（10・15） 8月 ノーベル賞小柴昌俊氏・田中耕一氏日本初受賞 5月 日韓共催サッカーワールドカップ開幕 2月 ソルトレック冬季五輪開催 1月 雪印、偽装工作が表面化	12月 敬宮愛子さま誕生 9月 米同時多発テロ発生 4月 小泉内閣誕生 1月 米ブッシュ政権発足	10月 長野県知事に田中康夫氏就任 9月 シドニー五輪開催、高橋尚子が金メダル 9月 三宅島噴火 全島避難 3月 有珠山噴火	10月 自公連立 9月 東海村のJCOで臨界事故発生 2月 日本初の脳死心臓移植	12月 イラク空爆 7月 和歌山カレー毒物混入事件発生 6月 サッカーワールドカップ・フランス大会開催 3月 前橋地方検察庁大泉出張所（登記所）廃止 2月 冬季五輪長野大会開催

広報
おうら

このこんな記事 (抜粋) 平成10-20年

忠敬の足跡をしのびました

伊能ウォーク隊が邑楽町を通過 ●平成11年8月号

伊能忠敬が日本全土の測量を始めから200年目に当たるのを節目に、全国を約2年間かけて歩こうというものです。この日、伊能ウォーク隊は館林市役所をスタート。午前11時にシンボルタワーに到着、大泉の文化むらを經由して太田市役所まで歩きました。



マミズクラゲ2年連続確認

中野沼を町天然記念物に指定 ●平成11年9月号

マミズクラゲは淡水に生息し、釣り鐘型。直径は5～20mmくらいです。中野沼はマミズクラゲをはじめ、たくさんの貴重な水生動植物が生息しているので、町は中野沼と水生動植物を町天然記念物に指定しました。



(写真は平成11年11月号)

中野沼にナッシー出現?

約110cmのジャンボウナギを捕獲 ●平成12年1月号

中野沼の水質保全対策事業で水が抜かれた東沼で、魚の生け捕りが行われました。そのとき捕獲されたのが写真のジャンボウナギ。胴回り22cm、体重2.2kgもありました。町では、このウナギをはく製にして、皆さんに見ていただくと考えています。



10 第1回上武洋次郎杯邑楽町少年少女レスリング大会 [平成17年11月]



18 邑楽町役場新庁舎完成 [平成20年3月]
平成18年11月に建設が始まった新庁舎が完成しました。



8 町立図書館の貸し出し点数が300万点を超える [平成17年2月]

300万冊目の利用者となった横山さんには花束が贈られました。



9 シンボルタワー入場者が20万人を達成 [平成17年5月]
20万人目は、佐藤さん一家。「初めて登りました。景色がよく見えていいですね」と感激のようでした。



6 おうら中央公園完成 [平成15年3月]

園内には子ども広場や噴水広場などがあります。池や橋の名前は、町民からの公募で決定しました。



11 第60回群馬県植樹祭 [平成18年5月]

邑楽町と館林市にまたがる多々良沼公園で行われたイベント。クヌギやコナラ、ヤマツツジなどの苗木を植樹しました。



7 公共バス「邑楽～太田線」運行開始 [平成17年2月]

町内の東武小泉線本野駅、福祉センター、県緑化センターなどを經由して太田駅南口や太田ショッピングセンターを結びます。

平成20年 [2008]	平成19年 [2007]	平成18年 [2006]	平成17年 [2005]	平成16年 [2004]	平成15年 [2003]	社会の主なできごと
<p>3月 邑楽町役場庁舎完成 [写真13]</p>	<p>10月 中野小学校南校舎・北校舎東棟耐震補強・大規模改造工事完成</p> <p>9月 町立図書館の貸し出し点数400万点を超える</p> <p>7月 町立図書館の貸し出し点数400万点を超える</p> <p>7月 公共バス「邑楽～太田線」路線変更・ダイヤ改正</p> <p>4月 邑楽町障害者福祉計画を策定</p> <p>3月 邑楽町障害福祉計画を策定</p> <p>3月 邑楽町第五次総合計画を策定</p> <p>3月 邑楽町集積改革プランを策定</p>	<p>3月 邑楽町安全安心まちづくり推進条例を施行</p> <p>3月 北児童館完成</p> <p>3月 南児童館完成</p> <p>8月 第60回群馬県植樹祭(会場:多々良沼公園) [写真11]</p> <p>5月 邑楽町保健センター完成 [写真12]</p>	<p>12月 おうらお知らせメール開始</p> <p>11月 第1回上武洋次郎杯邑楽町少年少女レスリング大会開催 [写真10]</p> <p>11月 名誉町民顕彰事業開始(第一号は小幡洋次郎さん)</p> <p>10月 長柄小学校管理教室棟耐震補強・大規模改造工事完成</p> <p>6月 千代田町との災害時水道連絡管供用開始</p> <p>5月 シンボルタワー入場者が20万人を達成 [写真9]</p> <p>5月 南保育園完成</p> <p>4月 町内の小・中学生が南極観測砕氷船「しらせ」体験航海</p> <p>3月 戸籍電子化システム稼働</p> <p>3月 邑楽町都市計画マスタープランを策定</p> <p>3月 中野沼公園完成</p> <p>2月 町立図書館の貸し出し点数が300万点を超える [写真8]</p> <p>2月 南極昭和基地とのテレビ会議</p> <p>2月 町のオリジナル写真付き切手の製作・販売</p> <p>2月 人口)を記録。世帯数は8,820世帯</p> <p>2月 町制施行以来最多人数となる2万7,983人(住基)</p> <p>2月 公共バス「邑楽～太田線」運行開始 [写真7]</p> <p>1月 新年賀詞交歓会スタート</p>	<p>12月 西邑楽三町合併協議会休止</p> <p>10月 邑楽中学校北校舎(西棟)耐震補強・大規模改造工事完成</p> <p>7月 西邑楽三町(大泉町・千代田町・邑楽町)合併協議会(法定)設置</p> <p>3月 次世代育成支援対策推進事業(邑楽町次世代育成支援行動計画を策定)</p> <p>1月 篠塚長柄神社の里神楽が町の重要無形民俗文化財に指定される</p>	<p>10月 ごみのポイ捨て・犬のふん害防止条例施行</p> <p>9月 邑楽中学校北校舎(東棟)耐震補強・大規模改造工事完成</p> <p>8月 住民基本台帳ネットワークシステム稼働</p> <p>3月 西邑楽三町任意合併協議会設立</p> <p>3月 おうら中央公園完成 [写真6]</p> <p>2月 館林市との災害時水道連絡管供用開始</p>	<p>5月 個人情報保護法が成立</p> <p>7月 イラク復興支援特措法成立、自衛隊派遣へ</p> <p>11月 邦人外交官2人がイラクで殺害</p>

TOPICS of the times

日韓共催サッカーワールドカップの開催

[平成14年]

アジア初のサッカーワールドカップ開催となった2002年大会は、W杯史上初の日本と韓国の2か国共催となりました。日本はベスト16、韓国はベスト4という快挙で、これを機に日韓両国の交流が一層盛んになりました。

以後、TVドラマを中心に韓流ブームが起こるなど、欧米中心からアジアへも目が向けられるようになっていきました。



生活環境

Living environment

安心して、快適に暮らせる生活環境をつくりまします。



だれもが安心して快適に暮らせる生活環境づくりをめざして、農業などと調和のとれた新規の住宅地開発の誘導、民間の宅地開発事業の適切な規制・誘導を行うとともに、住民と協働して景観形成のガイドラインや条例を検討し、暮らしやすい住環境を整えます。

上水道と下水環境については、安定的な水供給と下水道の整備、農業集落排水事業、浄化槽の設置等を進めます。また、総合的な排水計画を策定し排水路整備に努めます。資源の有効利用とごみの減量化にも努めます。

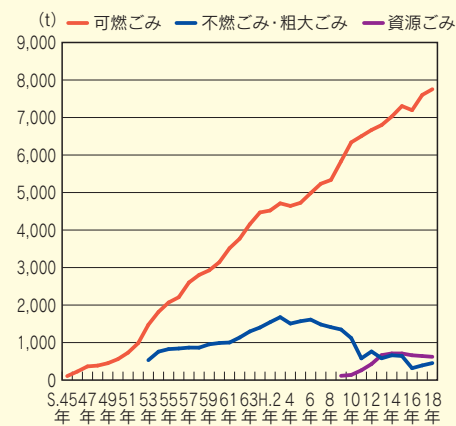
防災・防犯については、消防・救急や防災体制の充実、青少年の非行の防止と健全育成、地域ぐるみでの防犯運動などを進めます。

消費者問題や生活上の悩み、不安に対応する体制づくりにも努めます。

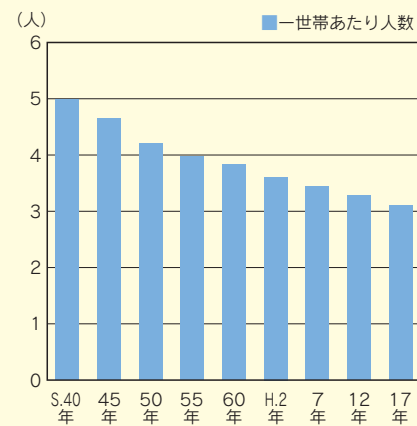
1. おうら中央公園 (エントランス広場)
2. 町内各地区で防犯パトロール実施 (前原)
3. 容器包装プラスチックの分別収集 (平成19年10月から)
4. 中野地区の町並み

DATA 生活環境

■家庭ごみ (生活環境課)



■世帯あたり人数 (国勢調査)



1. 平地林 (パインウッド21公園)
2. 新庁舎とシンボルタワー (おうら中央公園より)
3. 多々良沼公園



平地林や多々良沼公園などに代表される美しい自然環境は、邑楽町の大きな特徴です。それらを守りながら、地域の特性を活かした計画的な土地利用を推進します。

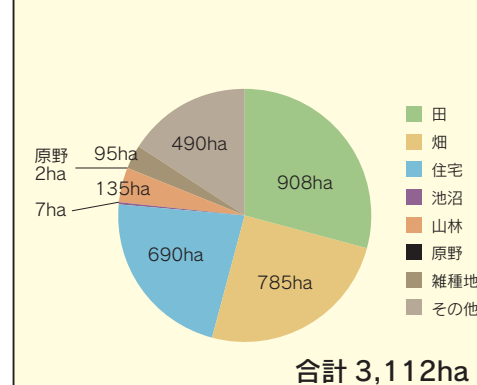
市街地開発事業や都市基盤の整備に当たっては、緑の充実や環境保全を徹底しながら進め、道路水準の向上や、交通事故防止等の施策を総合的に展開します。多々良沼公園については県立公園化による整備を要請します。

河川改修や、おうら中央公園付近の整備を進め、魅力的で機能的な「町の核」づくりを進めていきます。

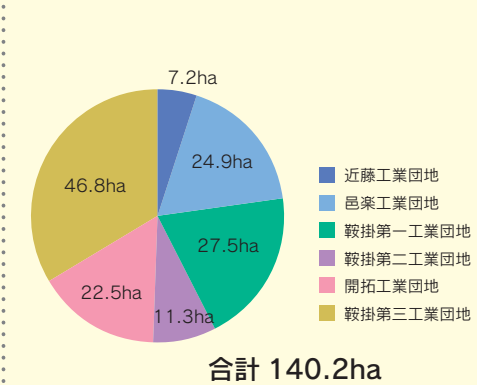
また、町内全般の情報通信システムの基盤整備や、省エネルギーの「町づくり」の推進にも努めます。

DATA 自然・都市基盤整備

■土地利用の状況 (税務課)



■工業団地の面積 (都市計画課)



自然・都市基盤整備

Nature
Upgrading Urban Infrastructure

自然環境を守りつつ計画的な土地利用を進め、都市基盤を整えます。

Ora town promotes land use policies that take full advantage of the precious assets of our area. Progress is being made in making Tataru-numa Park a prefectural park. The town also promotes comprehensive improvements in our urban infrastructure through urban development projects, development of the information-communication system and energy conserving enhancements. Progress is also being made with regard to improvements in our river development efforts and in the Ora Chuo Park area as we strive to make Ora a charming and functional town.

教育・文化

Education and Culture

創造性と個性を大切にした
教育・文化を育てています。



1. 小学校授業風景(高島小学校)
2. 郷土料理教室でそば打ち体験(中野東小学校)
3. 弥生式土器(町指定重要文化財)
4. おはようウオーク(多々良沼公園)
5. 長柄神社の桜「エドヒガン」(町指定天然記念物)



「まちづくりは人づくり」といわれるように、邑楽町の次代を担う人材の育成は大変重要です。
健康で創造性と個性に富んだ豊かな人間に育成することを目指し、特色ある学校づくり、一人ひとりの個性を大切にしたいきめ細かな教育など、幼児教育や学校教育の充実、教育施設的环境整備等に努めます。
また、すべての人々が生涯を通して、いつでも、どこでも学ぶことができるよう、生涯学習の環境充実にも努めます。地域全体で社会教育振興に取り組むとともに、住民の自主的なスポーツ振興を支援します。
文化財については保護・保存に努め、理解を深める取り組み、拠点施設の整備等を進めます。また、優れた芸術文化に接する機会を増やし、新たな文化創造への取り組みにも努めます。

保健・福祉

Health and Welfare

やさしさと思いやりのある
健やかな暮らしを支えます。

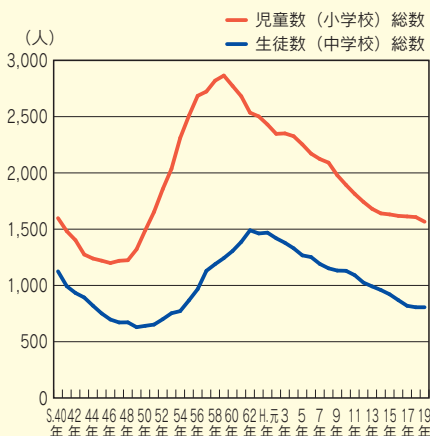


1. 広い園庭で元気いっぱい(南保育園)
2. 多くの皆さんに利用されています(テイスサービスセンター)
3. 高齢者筋力トレーニング教室(邑多福まつり)
4. 友達いっぱい(南児童館)
5. 保健事業で行われる検診(保健センター)

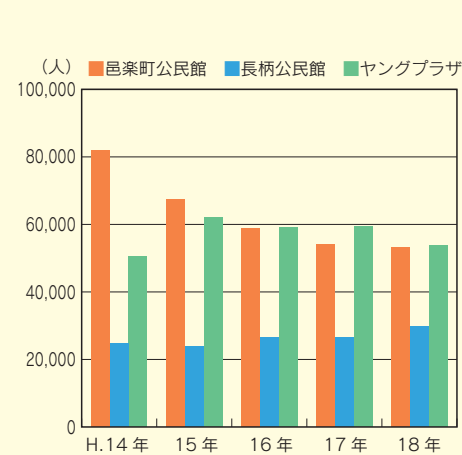


DATA 教育・文化

■小・中学校の児童・生徒数 (学校基本調査)

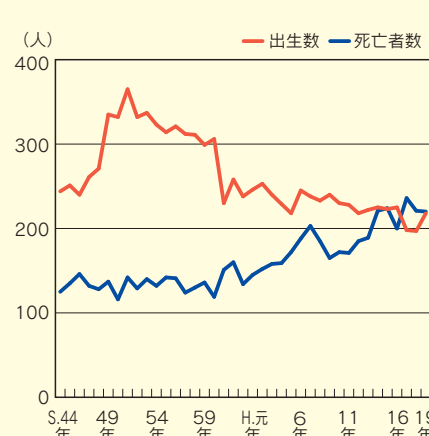


■公民館利用状況(生涯学習課)

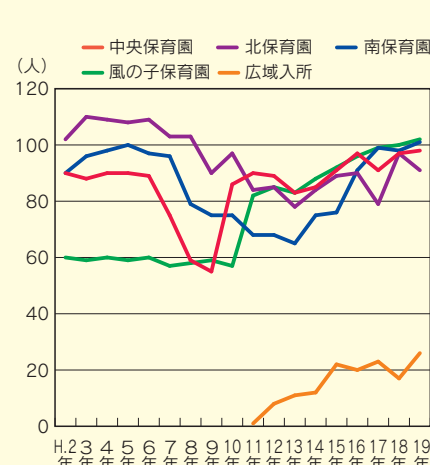


DATA 保健・福祉

■年間出生数と死亡者の推移 (人口動態調査)



■保育園児の推移(福祉課)



Ora town promotes an excellent education program by providing a wide range of opportunities for interaction throughout the town as well as in its elementary schools and nursery schools. Local school education is carried out at our fine schools that treasure the character and personality of each child. They provide a complete education and offer a wide range of learning opportunities through courses in foreign languages, information technology, volunteer activities, etc. The town also maintains a very good lifelong learning environment by promoting social education opportunities in excellent facilities to preserve our cultural assets. Ora town is also expanding its sports facilities, fostering leadership and providing many opportunities for residents to come in contact with art and culture.

Ora town provides various types of health check-ups and consultation services designed to promote positive health at the Municipal Health Center in an effort to promote the improvement of "Ora as a town of welfare". The town also encourages and supports local volunteer and NPO activities that provide "welfare services at home" and "facility services", as well as motivational activities for the elderly residents and independent rehabilitation for those facing disabilities and challenges. The town also maintains an environment that is good for the healthy upbringing of our children as well as bearing and rearing children free from anxiety. We like to think of Ora as a "town that cares about its children".

パートナーシップ

Partnership

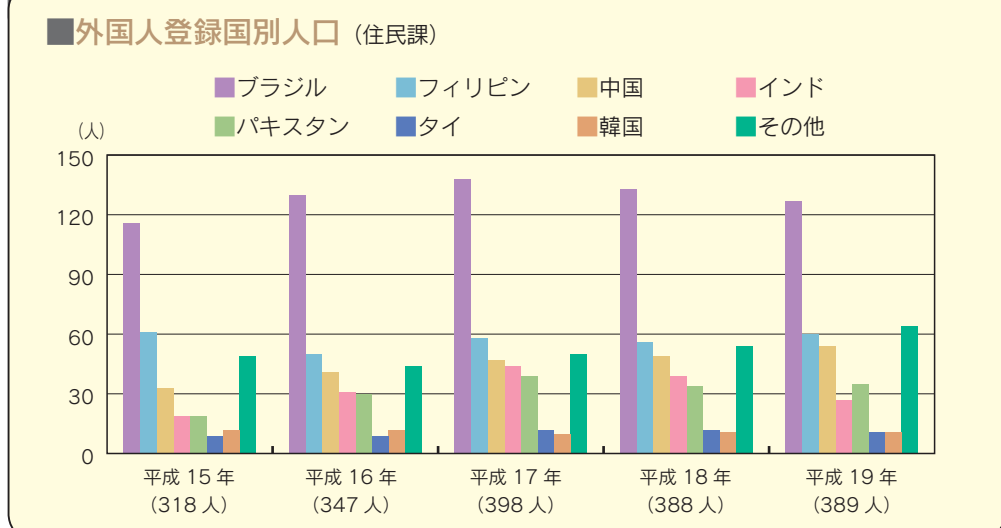
心のふれあう地域社会、
住民参加の的確な行政運営を進めます。



1. 邑楽町公民館まつり
2. 国際交流グループによる模擬店（長柄公民館まつり）
3. 男女共同参画セミナー（邑楽町公民館）
4. 町づくり座談会



DATA パートナーシップ



Ora town encourages and supports the creative activities of its proactive residents as it strives for regional enhancement through close human contact. In order for local residents from other countries to maintain peace of mind in their lives, the town has succeeded in becoming a "race equality society" with all of our residents working together to promote a system for protecting and nurturing our young people. Project teams have been set up to respond promptly, accurately, precisely, and flexibly to the needs of local residents, in an effort to contribute to "resident service" in the new town building. Through town-wide participation and the sharing of information, Ora town promotes urban enhancement founded upon a reciprocal partnership among its residents, the neighborhoods and the town administration.

産業振興

Industrial Promotion

活気ににぎわいのある
産業活動を支援します。



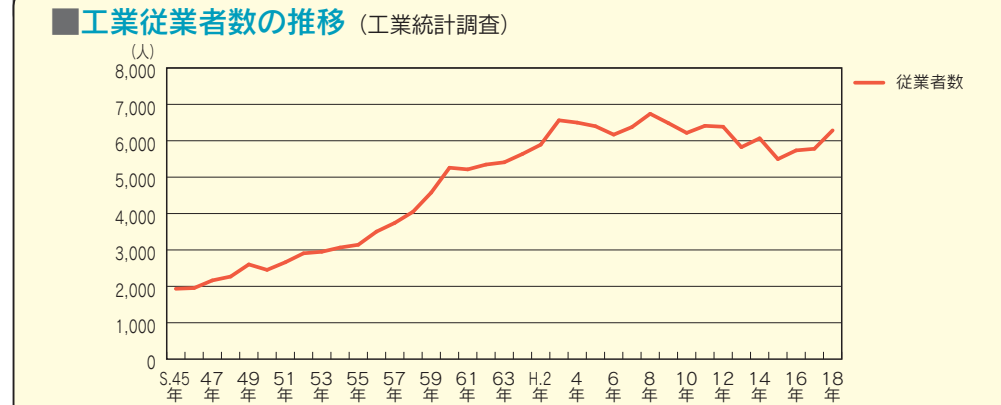
1. コンバインによる稲刈り
2. 白鳥まつり
3. 鞍掛第三工業団地
4. 自動車機器の製造
5. 町内の大規模店舗



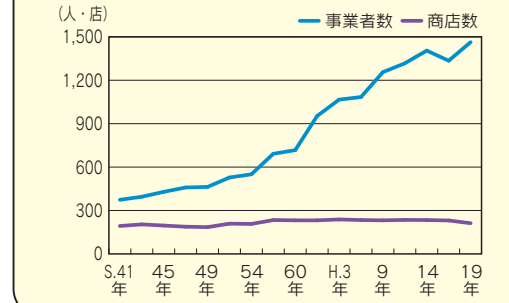
農業は、地産地消の推進、食の安全・安心の確保、優良農地の保全、意欲のある担い手の育成など、総合的な視点から農業の振興を図ります。製造業を中心とする工業は、既存工場のネットワーク化や中小零細企業のサポート強化、新規事業者への育成支援を推進します。商業は、にぎわいと魅力ある商業地の形成、個性ある店舗の推進などきめ細かな支援を推進します。観光とレクリエーションについては、観光客受け入れ体制の整備や、情報通信網を活用した新たな施策の展開を検討していきます。また、多々良沼公園やおうら中央公園を、観光レクリエーションとしての拠点づくりを進めます。さらに、新しい産業を支援し、町の活性化を図るとともに、勤労者支援策の充実・強化、若者の就業意欲向上や、中高齢者、女性、障害者の雇用推進にも努めます。



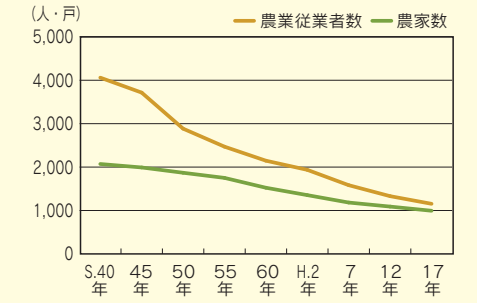
DATA 産業振興



商業の推移（商業統計調査）



農業の推移（農林業センサス）



Ora town supports its agricultural base through the encouragement of local production for local use as it strives to nurture a multifaceted farm management with highly motivated leaders. The town encourages and supports start-up businesses through the creation of networks with existing factories and the support of small businesses. Commercially, Ora town tries hard to support its changing commercial base through the creation of bustling commercial districts that attract consumers. The town also promotes the Tatara-numa Park and the Ora Chuo Park as strongholds of its tourism industry.

町制施行40周年のこの年、 庁舎が生まれ変わりました。

より一層の行政サービス 拠点をめざして

邑楽町町制施行40周年のこの年、長年の懸案でありました役場新庁舎が完成しました。これも町民の皆様はじめ、庁舎検討委員会、町議会や関係各位のご理解とご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

旧庁舎は、昭和33年10月竣工以来、50年を経過し、現在の行政ニーズの多様化や建物の耐震問題、狭あい化、老朽化など数々の課題を抱えておりました。これらの課題を解消し、利用される町民の皆様への利便性、環境への配慮、まちづくりの拠点となる新庁舎建設について、庁舎検討委員会の答申をいただき新庁舎が建設されました。

新庁舎の完成を契機に、より一層、職員一丸となり、町民皆様への行政サービス向上と、「やさしさ」と活気の調和したまち「おつら」の実現を目指して、行政運営に努力する所存であります。

今後とも町発展のため、町民皆様をはじめとする関係各位の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

邑楽町長 金子正一



エントランスロビー



太陽発電表示パネル（エントランスロビー）



待合ロビー・南階段



議場



大会議室

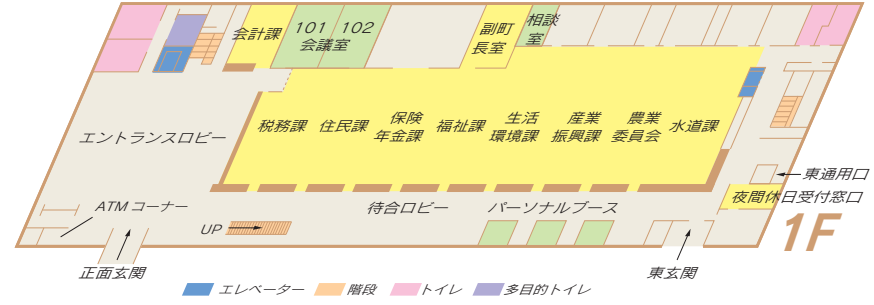
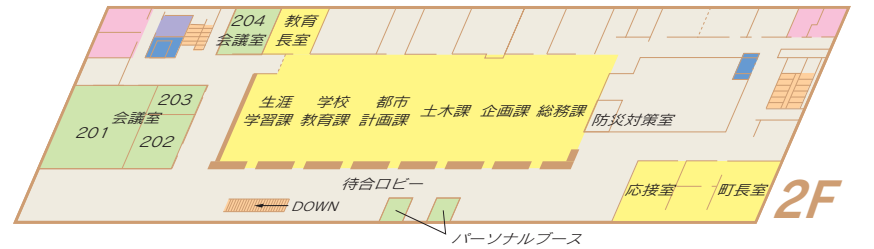
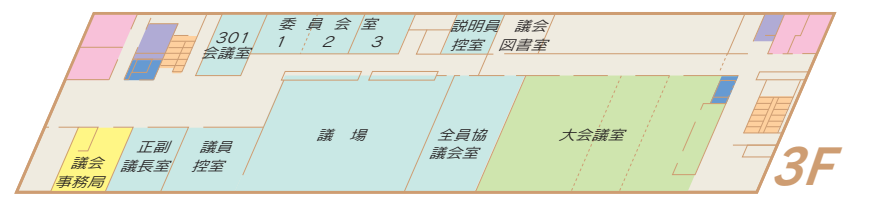


101・102会議室



201会議室

【各階案内図】



【各階の主な施設】

- 各階共通 エレベーター2基、階段2か所（東・西）・南階段は2Fまで、トイレ2か所・多目的トイレ
- 1F エントランスロビー、待合ロビー、パーソナルブース（3か所）、会議室（2か所）、副町長室、相談室、ATMコーナー、執務室（7課・農業委員会）、会計課
 - 2F 待合ロビー、パーソナルブース（2か所）、会議室（4か所）、町長室、教育長室、防災対策室、執務室（4課・教育委員会2課）
 - 3F 議場、正副議長室、議員控室、全員協議室、委員会室（3か所）、会議室（1か所）、大会議室、説明員控室、議会図書室、議会事務局

【庁舎のコンセプト】

- わかりやすく…**
機能をコンパクトに集約しながら、建物内の各ゾーンを明解に分ける単純な平面計画とし、初めての来庁者にもわかりやすく、親しみやすい空間構成となっています。
- 使いやすい…**
バリアフリーに配慮した施設で、子どもからお年寄り、障害のある人など、すべての人に無理なく安全に利用できる使いやすい建物となっています。
- 維持管理しやすく…**
執務室はフリーアクセスフロアーとし、将来、機構改革等での配置換えなどの変更が生じた場合においても、対応が容易にできるものとなっています。また、設備配管スペースや地下ピットを確保することで、各種設備等の更新メンテナンス管理にも配慮しています。
- 安心・安全な…**
主要な構造を鉄筋コンクリート造とし、均等な柱割りで平面計画することにより、経済性を追求しながら、基準以上の耐震強度を実現しています。また、さまざまな災害に対しても、防災拠点として使用できる施設となっています。
- 環境への配慮…**
20kW相当の太陽発電パネルを設置し、建物の電気の一部を賄います。また、執務室の空調機器には深夜電力を使った氷蓄熱方式を採用し、環境への負荷を軽減しています。

町内の主な施設



① 邑楽町役場新庁舎



② 保健センター



③ 社会福祉協議会・福祉作業所



④ 福祉センター寿荘



⑤ ぬくもりの里



⑥ 邑楽町共同福祉施設



⑦ シンボルタワー・あいあいセンター



⑧ 邑楽町公民館



⑨ 産業研修会館（長柄公民館）



⑩ 勤労青少年ホーム（ヤングプラザ）



⑪ 町民体育館・武道館



⑫ 町立図書館

役場			
① 邑楽町役場	教育委員会	88-5511	
	保健センター	88-5533	
	地域包括支援センター（保健センター内）	80-9300	
	中央公園管理棟	88-7822	
	鶉土地区画整理事務所	70-2146	
福祉			
③ 社会福祉協議会		88-2408	
	④ 福祉センター寿荘	88-6588	
	テイサービスセンター	89-1522	
	③ 地域活動支援センター（福祉作業所）	88-7920	
	⑤ ぬくもりの里	89-1533	
高年齢者活力センター	高年齢者活力センター	89-0099	
	陽光園	88-6700	
	商工		
邑楽町商工会館		88-0082	
	⑥ 邑楽町共同福祉施設	88-7339	
	⑦ シンボルタワー	88-8686	
農政			
群馬県緑化センター		88-7188	
	館林邑楽農業共済事務組合	75-3311	
	⑦ あいあいセンター	89-1456	
教育			
⑧ 邑楽町公民館		88-1290	
	⑨ 産業研修会館（長柄公民館）	89-0123	
	⑩ 勤労青少年ホーム（おうらヤングプラザ）	89-1501	
	⑪ 町民体育館・武道館	88-5355	
	⑫ 町立図書館	88-5900	
	学校給食センター	88-0678	
	教育相談室（邑楽町公民館内）	88-9779	
	警察・消防		
	石打駐在所		88-5541
		中野駐在所	88-5555
篠塚駐在所		88-0543	
消防邑楽分署		88-5551	
保育園			
北保育園		88-2320	
	中央保育園	88-0230	
	南保育園	88-1240	
	風の子保育園	88-5850	
幼稚園			
高島幼稚園		88-5540	
	中野幼稚園	88-4808	
	長柄幼稚園	88-0049	
小学校			
高島小学校		88-0644	
	中野小学校	88-5501	
	中野東小学校	89-0888	
	長柄小学校	88-0649	
中学校			
邑楽中学校		88-0150	
	邑楽南中学校	88-2120	
児童館			
北児童館（高島）		88-3715	
	中央児童館（中野）	88-6135	
	東児童館（中野東）	88-1360	
	南児童館（長柄）	88-2258	
その他			
大泉町外二町清掃センター		63-1266	
	大泉町外二町斎場	62-6001	
	東武鉄道本中野駅	88-7160	

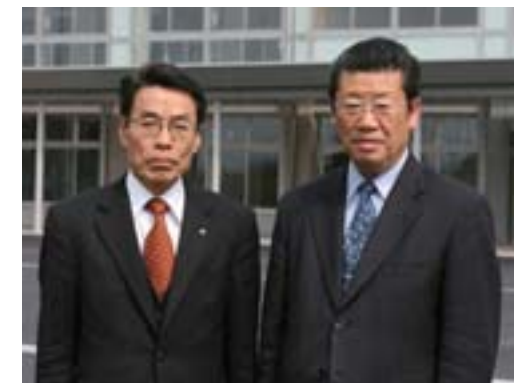
行政・議会



町議会



議長/横山英雄 副議長/相場一夫



町長/金子正一 教育長/川田定昭

議会

年4回の定例会開催はもとより、必要に応じ臨時会も開催されています。町の主要な事業や政策の基本となる事項について、議決や同意等を行うことにより、住民の声が町政に十分反映されるよう、住民の代表として活動しています。

また、町の事務に関する調査や議案、請願等の審査を行なうため、委員会を設置し、広範多岐にわたり、専門化している案件について、調査・審査を行っています。

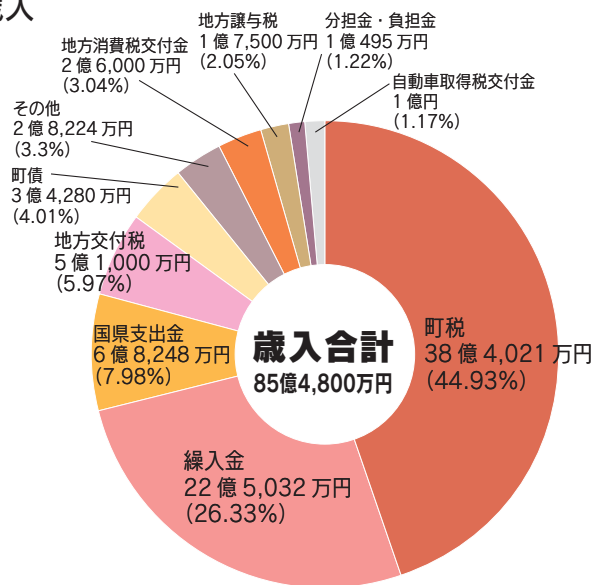
行政

「やさしさと活気の調和したまち。おつら。」を町の将来像とし、多様化・高度化する住民ニーズに対応し、きめ細かな行政サービスを提供できるように、行政組織の改善、定員管理の適正化など、行政改革を推進し、町行政が持つ情報の公開と行政への住民参加と協働を推進します。

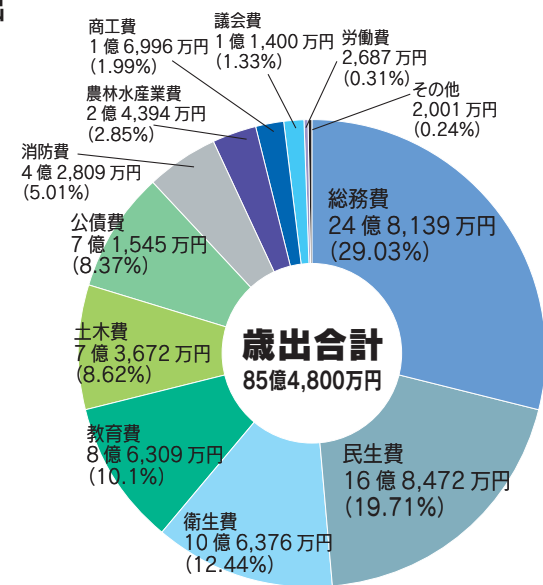
財政運営においては、社会・経済情勢の動向に留意し、自主財源の確保と依存財源の活用にも努めるとともに、多様化・高度化する行政需要に対応するため、効果的・効率的に事務事業に取り組み、徹底した経費節減を図り、長期的な展望にたった健全で計画的な財政運営に取り組みます。

平成19年度一般会計当初予算（総務課）

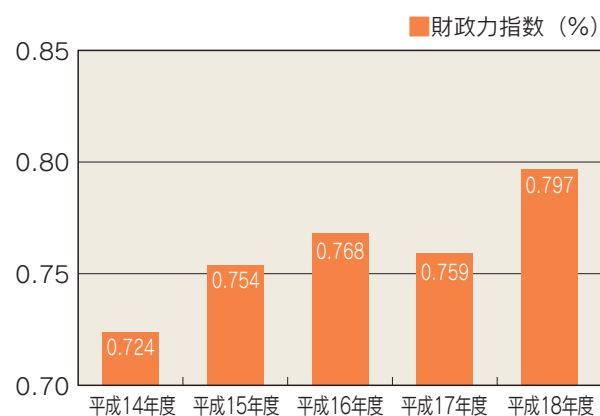
歳入



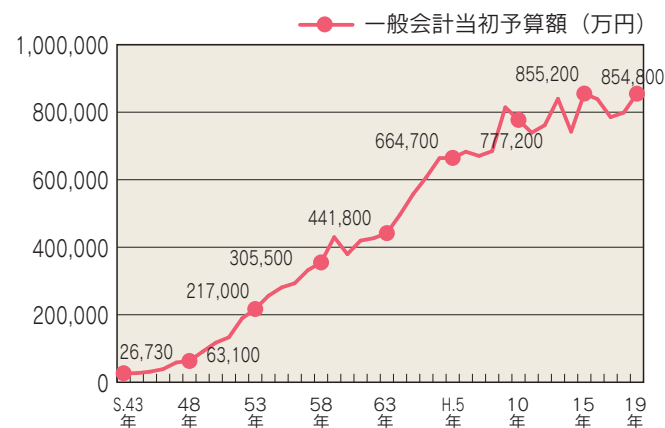
歳出



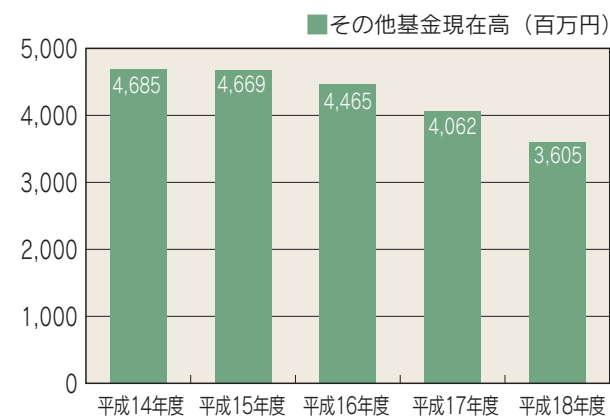
財政力指数



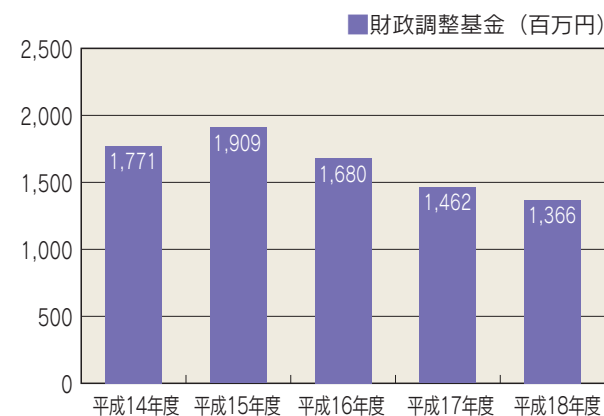
一般会計当初予算額の推移



その他基金現在高



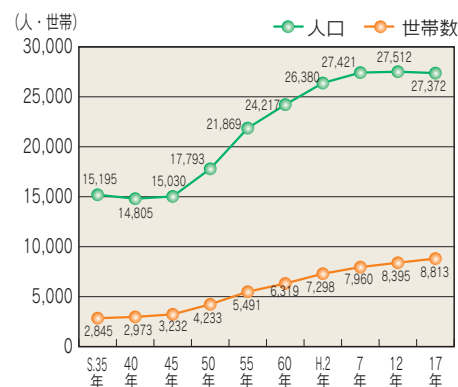
財政調整基金



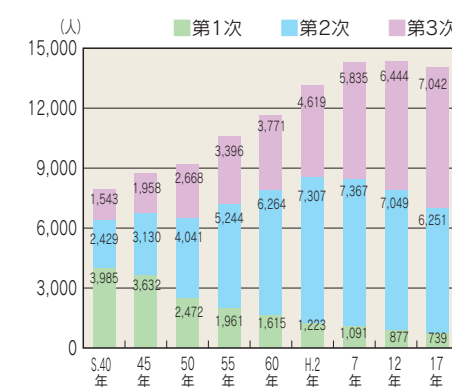
統計で見る住民生活

人口密度 1km ² あたりの人口 880人	世帯人員 1世帯平均 3.11人	出生 1.7日に 1人	死亡 1.8日に 1人	婚姻 2.6日に 1組
離婚 6.5日に 1組	転入 1日に 2.7人	転出 1日に 3.0人	町の予算(一般会計) 住民1人あたり 年間303,465円 (平成19年度一般会計予算)	町税 住民1人あたり 年間136,059円 (平成18年度一般会計決算)
し尿・浄化槽汚い処理 1日に 30.9kℓ	交通事故 1.4日に 1件	火災 33.2日に 1件	救急車出動件数 10.5時間に 1件	商業販売額 1商店 年間13,117万円
				工業製造品出荷額 1事業所(4人以上) 年間150,293万円
				家庭ごみ 1日に 24.2t

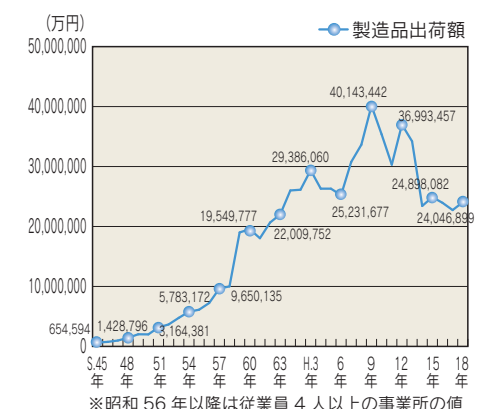
人口世帯数の推移 (国勢調査)



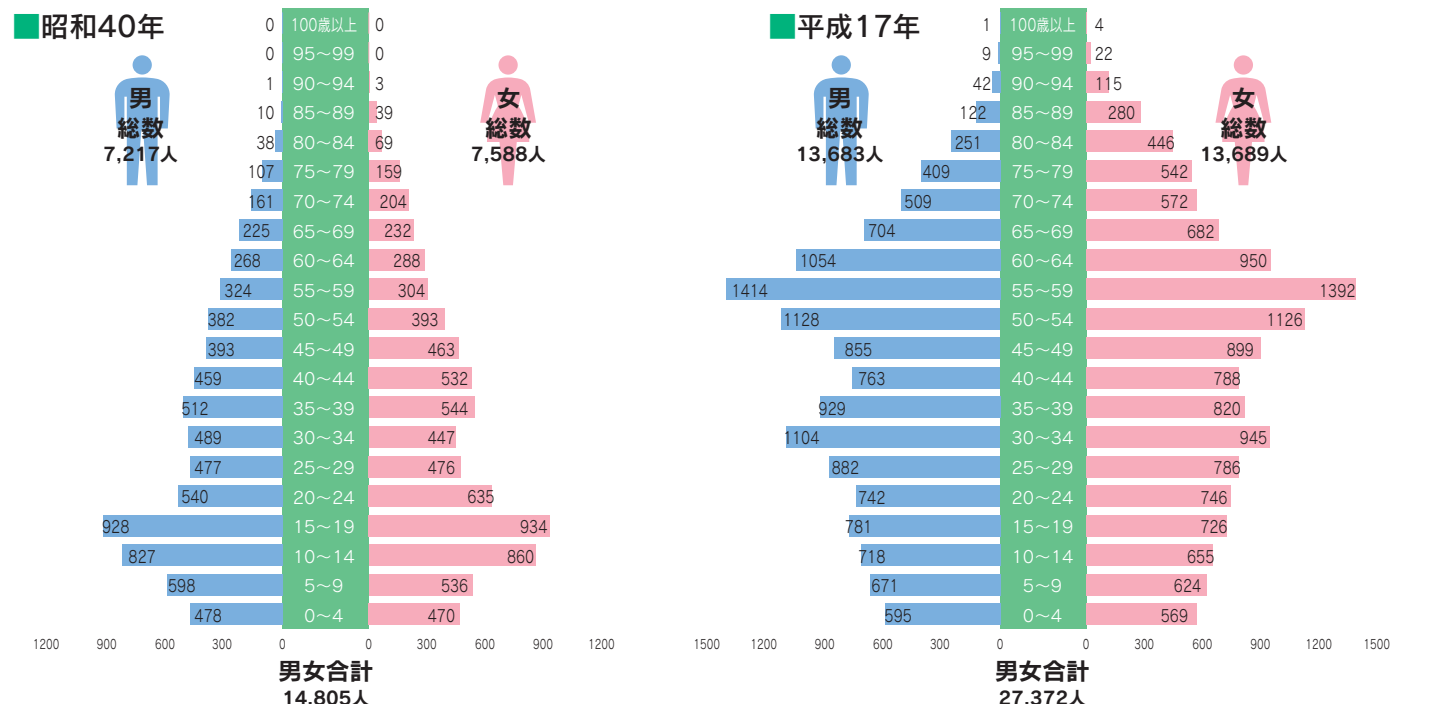
産業別人口の推移 (国勢調査)



製造品出荷額 (工業統計調査)

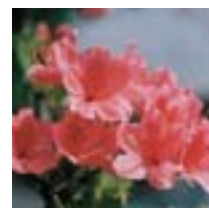


年齢別人口 (国勢調査)





〈 町 章 〉



〈町の花●ヤマツツジ〉



〈町の木●アカマツ〉

【町民憲章】

私たちは郷土に誇りをもち

太陽と緑と水に恵まれた 豊かで 住みよい町をつくるために

全町民の願いをこめて この憲章を定めます

1. 邑楽町は 若さと希望の 伸び行く町です
1. 邑楽町は 笑顔あふれる 福祉の町です
1. 邑楽町は 町民総参加の スポーツ振興の町です
1. 邑楽町は 自然を愛し 美しい環境をつくる町です
1. 邑楽町は 教育を重んじ 文化を高める町です

(昭和 53 年 7 月 1 日制定)

町制施行40周年記念「邑楽町40年のあゆみ」

発行■群馬県邑楽町

〒370-0692 群馬県邑楽郡邑楽町大字中野2570番地1

TEL.0276-88-5511(代表) FAX.0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/>

E-mail koho@town.ora.gunma.jp

発行年月■平成20年5月

企画・編集■邑楽町役場企画課

印刷■朝日印刷工業株式会社

